

1. 福岡県西方沖地震の概要

2005年3月20日午前10時53分頃、福岡県西方沖（福岡市の北西約30km）を震源とする地震が発生した。震源の深さは9km、地震の規模はマグニチュード（M）7.0と推定されている。この地震により、福岡県福岡市の東区、中央区、前原市、佐賀県みやき町で震度6弱を観測したほか、九州地方から関東地方の一部にかけて震度5強～1を観測した。（図-1.1）⁴⁾

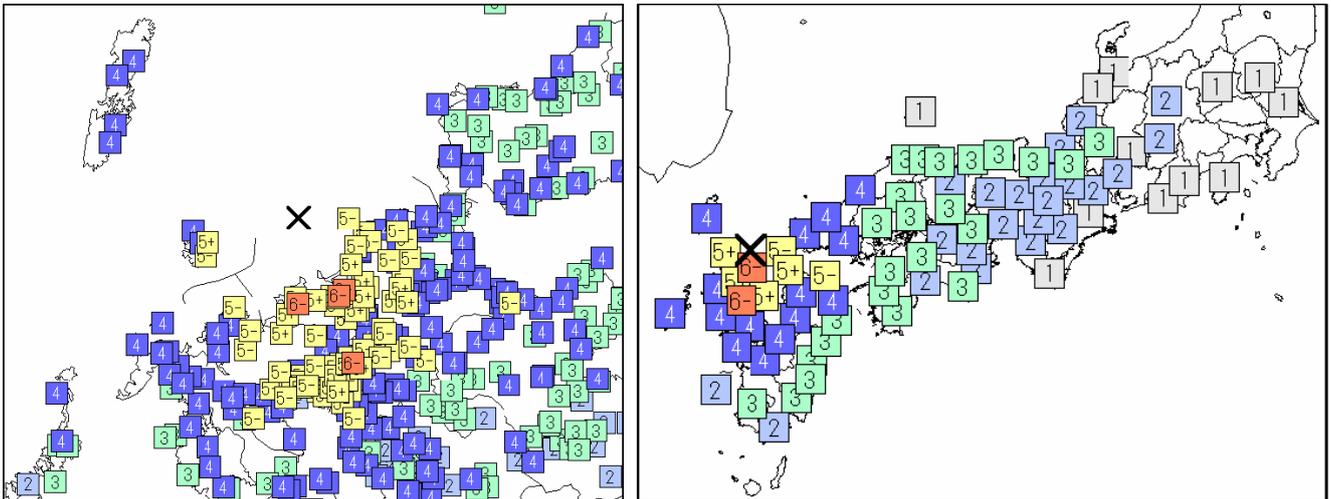


図-1.1 震度分布（「気象庁報道発表資料」⁴⁾より）

余震活動として、MT図（図-1.2）、震度1以上を観測した地震発生回数（図-1.3）を下に示す。⁵⁾ 最大余震は、4月20日6時11分頃にM5.8（最大震度5強）が発生した。

本震及び余震は北西－南東方向に約30kmの範囲内に分布しており、本震は余震分布の中央部やや北西寄りに位置している。本震の発震機構は東北東－西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層を示しており、震源分布から、北西－南東方向のほぼ垂直に立った断層面の左横ずれ断層運動（図-1.4）と推定されている。⁶⁾ 本震及び余震の震源は、図-1.5のとおり分布している。

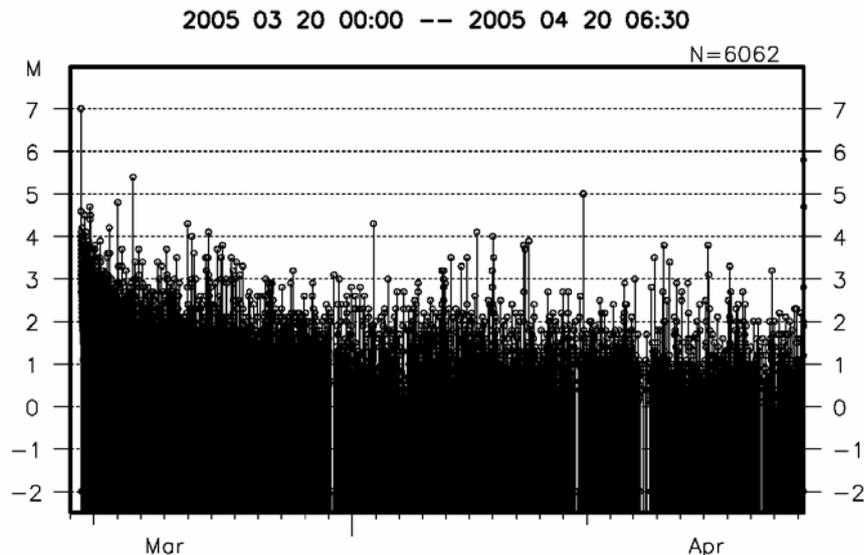


図-1.2 MT図（横軸は時間、縦軸はMを表す）

（「気象庁 報道発表資料」⁵⁾より）

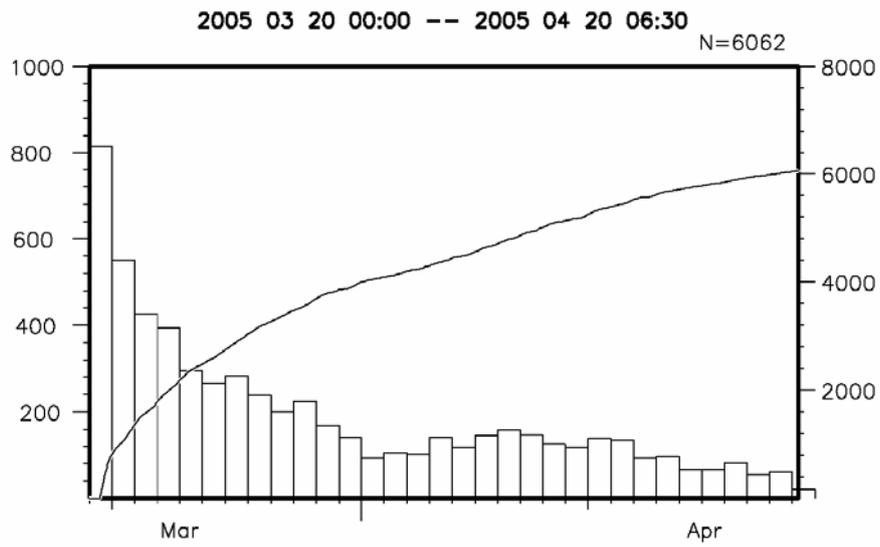


図-1.3 地震発生回数
(「気象庁 報道発表資料」⁵⁾ より)

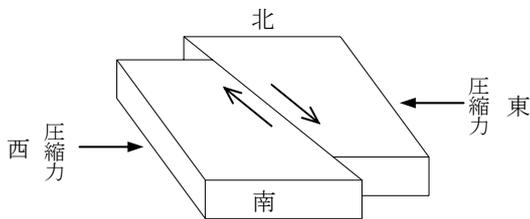


図-1.4 左横ずれ断層

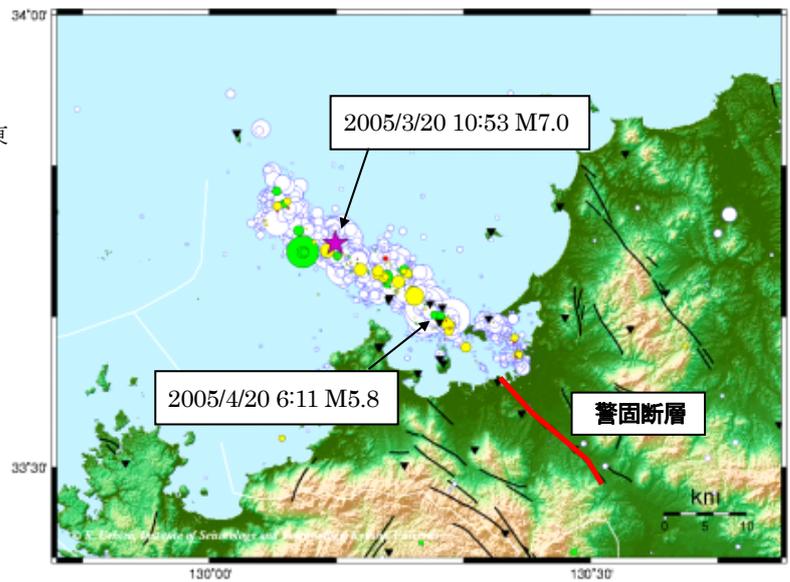


図-1.5 震源位置 (H17.5.31 時点)
(「九州大学地震火山観測研究センターHP」⁷⁾ に加筆)